

Q 町内施設の充実(公園の整備)

藤本哲智議員

A 子育て世代の定住促進は非常に重要な課題であり、住民ニーズに合わせた公園整備を検討していく。(三村町長・森本建設部長)

現在、熊野団地地区において「都市再生整備計画」を策定し、地域交流の活性化、居住人口の維持などを目標とした整備を進めており、西公民館建設予定地脇の芝生に総合遊具の設置を計画している。

また、既存施設においては、適時、修繕を行うことで安心して利用できる環境の維持に努めている。

今後とも計画的な管理を行いながら、町民が快適に利用できる公園環境づくりに努めていく。

第5次熊野町総合計画にある「ひとまち育む筆の都熊野」を実践するには、町内施設の充実を進めることが必要と考える。

子育て世代の定住促進を進めるためにも町内の公園整備は早急に取り組むべき問題と捉えるが、町として公園整備に対する考えを問う。

教育部門

Q 西公民館建替えの進捗状況は

山野千佳子議員

A 西公民館新築工事は、平成27年度中に完成する計画である。(藤森教育部長)

現在、西公民館新築及び宅地造成実施設計の入札が終わり、業者を決定した。

新築設計を行うに当たり、西公民館の公民館運営審議会を5月中旬に開催し、色々の意見をいただいた。6月末をめぐりにこの意見等を取りまとめ、7月から新築実施設計業務に入り、複数の施行案を作成し、全体の公民館運営審議会に諮り、2月末をめぐりに完了の予定である。

宅地造成実施設計業務は、6月から測量・地質調査を行い、7月から土木設計に入り、9月末をめぐりに完了の予定である。

宅地造成工事については、11月に入札発注、3月中旬完成の予定である。

西公民館新築工事は、平成27年度当初に契約事務を行い、年度中に完成する計画である。

- ・実施計画
- ・工事計画状況
- ・完成の予定は。

Q 各小学校の学校評議員制度

佛圓大源議員

A 学校と地域がより連携を推進している。(藤森教育部長)

学校評議員制度は、学校長が保護者や地域の方々との意見を幅広く聞くため、平成12年4月に導入された。

学校評議員からは、地域の住民の意見や意向、地域の行事や施設との連携など活発な意見をいただいている。

一例として、熊野第二小学校の「とんど祭り」や「持久走大会」における地域連携などがある。

学校長は、学校評議員から意見を聞いて、地域に信頼される特色ある学校づくりを進めるとともに、地域の人々や学習環境を積極的に活用するなど、学校と地域がより連携を推進している。

地域住民の学校運営への参画また、地域社会に開かれた学校づくりを推進していくための制度は、今日どの様な提言が出され、成果を上げているか。

Q 介護予防施策について 時光良造議員



▲ゆらっとくま〜リハビリ体操

A 広島国際大学との連携を図り、より効果的な事業展開を行っていききたい。(三村町長・清代民生部長)

これから迎える超高齢社会は、団塊世代が後期高齢者となる2025年問題として、大きな問題となっている。

こうした状況の中、本町では、第5次熊野町総合計画で、「共に支えあい、健やかに暮らせるまち」を政策目標に掲げて、住み慣れた地で生活を営むことができるよう支援を行っている。

具体的には、自身の健康づくり等を目的とした「ゆらっとくま〜リハビリ体操」、全身の筋肉を効果的に使うノルディックウォーキングの普及啓発。また、ミニデイホーム事業の推奨等、住民相互の助け合いの仕組みづくりに取り組んでいる。

これらの事業や認知症に対する予防事業については、地域連携協定を結んでいる広島国際大学との連携を図り、より効果的な事業展開を行っていききたい。

超高齢社会を見据えた町の介護予防事業の現状と今後の取り組みについて問う。

建設部門



時光良造議員



◀改良された県道瀬野呉線

Q 県道瀬野呉線交通安全事業

A 引き続き歩道整備を行い、交通事故の削減及び通学路の安全を図る。(森本建設部長)

事業計画は、新宮宮前地区から海上側地区までの900mを計画区間としており、この内、1工区の新宮苑団地入口から新宮コミュニティセンターまでの280mについては、本年6月に完成の予定である。

引き続き、1工区の残り60mと2工区の海上側地区までの560m区間について、本年度は用地買収及び物件補償を行う予定である。

このため、歩道整備を行い、車道と歩行空間を分離することにより、交通事故の削減及び通学路の安全を図ることとしている。

計画区間は、熊野第二小学校への通学路であり、児童も多く利用しているが、一部歩道はあまりの十分な歩道幅員が確保されていないため、歩行者が危険な状況で利用をしている。

新宮地区における県道瀬野呉線交通安全事業の概要及び計画について説明を求める。